

2021年1月21日

関係各位

会社名：三井物産株式会社  
代表者名：代表取締役社長 安永竜夫  
(コード番号：8031)  
本社所在地：東京都千代田区大手町  
一丁目2番1号

**モアティーズ炭鉱/ナカラ回廊鉄道・港湾インフラ事業の持分売却に係る  
基本条件の合意について**

三井物産株式会社（本社：東京都千代田区、社長：安永竜夫、以下「三井物産」）は、Vale S.A.（以下「Vale」）とモザンビーク共和国でモアティーズ炭鉱事業（以下「モアティーズ」）およびナカラ回廊鉄道・港湾インフラ事業（以下「ナカラ」、両事業を併せ「本事業」）を推進しています。今般、三井物産が保有する本事業の全持分とこれに付随する融資を、本事業を主導するValeにそれぞれ1.0米ドルで譲渡するにあたっての主要条件を定めた基本合意書を、2021年1月20日付けで締結しました。

本譲渡は、関係者との詳細条件の合意と両社で必要な社内許可の取得を経て持分譲渡契約を締結し、関連許認可取得等を含む一定の前提条件を充足後に2021年中に完了することを目標としており、持分譲渡契約の締結に至った際には、改めてお知らせいたします。

三井物産は、2017年3月にValeより、モアティーズの95%権益を保有する同社子会社の15%持分、およびナカラを推進する同社子会社の50%持分を取得し、本事業の開発推進と操業改善に取り組んで参りましたが、Valeが中核事業への集中とESGの観点から石炭事業からの撤退を決定したことを受け、事業ポートフォリオ再構築の一環としてValeへの売却を決定致しました。尚、Valeは当社より本事業を取得した後も操業を継続し、最終的には第三者への売却を検討する予定とのことです。

本事業の譲渡実行に伴い見込まれる損失に関しては現在精査中であり、今後開示すべき事項が発生した場合には速やかにお知らせいたします。尚、2020年10月30日に公表した2021年3月期の通期連結業績予想では、本事業に係る損失を考慮しております。

## モアティーズ炭鉱事業の概要

事業内容	石炭の生産・販売
権益保有比率	三井物産・Vale 持株会社：95%（内訳：Vale 85%、当社 15%） モザンビーク鉱物資源公社：5%
当社投融資簿価	約 0 百万米ドル（2020 年 9 月末時点）

## ナカラ回廊鉄道・港湾インフラ事業の概要

事業内容	石炭・一般貨物・旅客の輸送及び積出
権益保有比率	三井物産・Vale 持株会社：約 100%（内訳：Vale 約 50%、当社 約 50%） モザンビーク共和国現地株主：少数
当社投融資簿価	約 500 百万米ドル（2020 年 9 月末時点）

本件に関する問合せ先：三井物産(株)

IR 部 TEL:03(3285)7657

広報部 TEL:080(5912)0321

### ご注意:

本発表資料には、将来に関する記述が含まれています。こうした記述は、現時点で当社が入手している情報を踏まえた仮定、予期及び見解に基づくものであり、既知及び未知のリスクや不確実性及びその他の要素を内包するものです。かかるリスク、不確実性及びその他の要素によって、当社の実際の業績、財政状況またはキャッシュ・フローが、こうした将来に関する記述とは大きく異なる可能性があります。こうしたリスク、不確実性その他の要素には、当社の最新の有価証券報告書、四半期報告書等の記載も含まれ、当社は、将来に関する記述のアップデートや修正を公表する義務を一切負うものではありません。また、本発表資料は、上記事実の発表を目的として作成されたものであり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘またはそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。